

平成25年11月11日

魚沼市議会議長 浅井守雄様

福祉文教委員会

委員長 関矢孝夫

福祉文教委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 現地調査
(2) 現地調査の総括
(3) その他

- 2 調査の経過 11月11日に委員会を開催し、教育委員会所管施設について、現地を視察し、総括を行った。

福祉文教委員会会議録

1 調査事件

(1) 現地調査

(2) 現地調査の総括

(3) その他

2 日 時 平成25年11月11日 午前9時

3 場 所 広神庁舎3階 301会議室

4 出席委員 大平恭児、志田 貢、遠藤徳一、渡辺一美、関矢孝夫、森島守人、
(浅井守雄議長)

5 欠席委員 なし

6 説明員 星教育長、富永教育次長

7 書 記 小幡議会事務局長、関主任

8 経 過

開 会 (9:00)

関矢委員長 定足数に達しておりますので、ただいまから福祉文教委員会を開会します。渡辺一美委員から遅刻の届け出がありましたので報告します。これから本日の会議を開きます。

(1) 現地調査

関矢委員長 日程第1、現地調査についてを議題といたします。お手元に配付しました行程表のとおり教育委員会所管の施設の視察を行います。しばらくの間、休憩します。

休 憩 (9:01)

休憩中に現地視察

再 開 (16:40)

関矢委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。

(2) 現地調査の総括

関矢委員長 日程第2、現地調査の総括を議題とします。現地調査を総括してご意見や感想等をいただきたいと思います。

大平委員 学区再編の地域を含めて視察しましたが、それぞれ特殊性があつて地域と一体となつて教育を行っているのを校長先生や生徒の様子から見てきました。非常に力強く感じましたし、入広瀬中学校は自信を持って述べられていたのが印象的で、生徒もいきいきした表情が見られました。この視察を今後の議会活動に生かしていきたいと思ひました。

遠藤委員 大平委員から話がありましたように、市の方向性と合わせた中で地域と一体となつて真剣に取り組んでおられる姿がよくわかりました。自分たちの特色を出そうと取り組んでいる様子がわかつた点で大変よかつたと思ひております。特に守門中学校のイエローリボンといういじめゼロの取組みは、ほかでもやっているのかわかりませんが、評価されているということです。今後全市展開になればいいなという感想を持ちました。地域との連携という点では、それぞれが頑張つておられますが、地域から学校がなくなるということに対する地域のコミュニケーションの問題では難しい点があるかと思ひますので、地域形成、地域を思う子どもの形成をどう図っていくのか、学区再編の課題の一つとして取り上げていくべきだと感じました。

渡辺委員 中学校の学区再編につきましては、18年の当初の案からは全く違う形になっているということもありますし、18年のときには小学校の統合があつたわけですが、そのときは「統合ありきではなく、市としてはこういう案を出しますが、どうするかは地域で考えていただきたい」というところから始まつた感があつたんですけど、今回はどちらかというともう決まっているような感じで保護者に説明しているのではないかと思われるようなふしがあることが懸念されました。感想としましては、やはり通学の距離の問題、それからそれぞれの中学校の特色があり、本当にこの統合が今後どうなっていくのか注視する必要があるという感想を持って帰つてきました。

森島委員 統合する3校とも校長の学校経営に対する思いを感じてきたところでありますし、それがやはり子どもに反映しているのかなと感じました。もう1点は、つくし保育園の暖房器具のほか各学校から要望があります。これから予算編成になりますので、ぜひかなえられるように、子どもたちのためにやっていただきたいと思ひました。

志田委員 学区再編のいろいろな問題が浮き彫りになつたと思ひます。その中でも広神中学校の校長先生が「時間が規制されると学校側も大変やりにくい」と言つておられました。そういう内情的なものがよくわかりましたので今後の課題にしたいと思ひております。

関矢委員長 これから質疑を行います。

渡辺委員 先ほども話をさせていただきましたが、教育委員会からの説明では決定事項というニュアンスが伝わっているのかなという懸念を持っているのですが、今後皆さん方と協議しながら進めていきたいという説明をしているのか、それともそちらに向かつていきますという説明で進めていらっしゃるのか、そのあたりいかがでしょうか。

星教育長 18年に公表したときにどのような説明をしていたのかわかりませんが、今回の案につきましては、教育委員会の考え方としてはできるだけこういう形でやらせていただきたいですが皆さんのお考えもお聞きしたいという態度で臨みました。

渡辺委員 地域の皆さん方の意見が違う方向でということであれば考慮すると考えてよろしいですか。

星教育長 地域の方々の意見が反対一色だということであれば、当然進んでは行けないものと考えております。

大平委員 渡辺委員が言ったように非常に不安を覚えるような意見交換だったと聞いています。十分な話し合いをするという立場で進めていってもらいたいし、判断するときも十分地域の皆さんの意見を吸い上げるよう柔軟に対応するという立場をぜひとっていただきたい。期限を区切ってしまうと保護者や地域の方はそれに向かって物事を考えますので非常に制約された議論になってしまうと思うので、十分な配慮をしていただきたいと思いますが、その点についてはどうでしょうか。

星教育長 早急に結論を出す気はないということを私は再三申し上げておりました。ただ、期限はなしでいつまでもいいですよというわけにはいかないのも、もちろん慎重であるべきだとは思いますが、どのような判断になるかは決まっておられませんけれども、どこかの時点で教育委員会として下す必要はあろうかと思っております。

関矢委員長 ほかに質疑はありませんか。(なし) 本件については、引き続き調査していくこととします。

(3) その他

関矢委員長 日程第3、その他を議題とします。しばらくの間、休憩します。

休 憩 (16:50)

休憩中に懇談的に意見交換

再 開 (16:53)

関矢委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。皆さんから何かありませんか。

渡辺委員 ひとり親世帯の就労支援ということで、看護師あるいは介護士などの勉強をする方々に月10万円程度の支援をするという制度があるんですけど、実は魚沼市はしていないということで、これがどこの所管になるのか。新潟県では児童家庭課でしたが、来年度に向けてそれができるのか早急に検討していただきたいと思うんですけど、どちらの課の所管でしょうか。

富永教育次長 制度の内容を確認し、必要なことはやっていきたいと思っております。

関矢委員長 ほかにありませんか。(なし) これで、その他を終わります。本日の会議録の調製については委員長に一任をいただきたいと思います。ご異議ありませんか。(異議なし) それでは、本日の福祉文教委員会はこれで閉会といたします。

閉 会 (16:55)